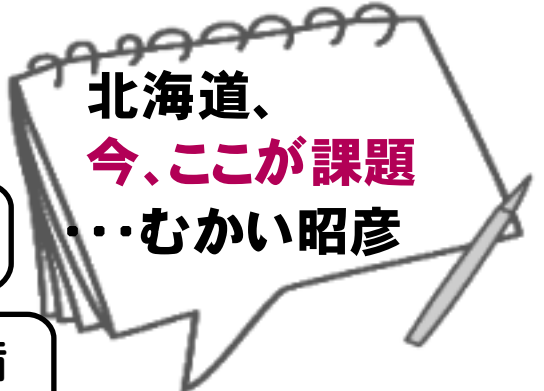


むかい昭彦の「道政は今」



北区選出 北海道議会議員 **むかい昭彦の道政報告** 発行：むかい昭彦道政事務所 TEL011-299-2361 FAX011-299-2971
〒001-0028 札幌市北区北28条西4丁目2番12号YMノース28 1F



教育の充実

国道・道道の整備

観光振興
JR北海道の信頼回復

サービス産業の振興

海獣対策

…平成25年第三回定例会予算特別委員会で質問しました (2～3 P)

11月6日(水)18:30 札幌サンプラザにて
道政報告会「むかい昭彦と語る“明日の北海道”」
を開催しました。

ご多用のなか、大変多くの皆さまにご参加いただき、
力強いご支援と激励を賜りました。北海道経済発展と
道民生活の向上のために、今後とも尚一層、働きます。



教育の充実

特色ある高校づくり

私は「外国語に特化した学校」や「道立高校の外国語学科」の設置を主張してきました。札幌市は中高一貫校に、海外で通用する大学入学資格を取得できる教育プログラム「国際バカロレア」を導入し、国際機構の認定を目指しています。「国や他県の動きを見ながら検討する」という消極的な姿勢をではなく、より積極的に特色ある高校づくり、魅力ある高校づくりに取り組んでいただきたい。

栄養教諭の全校配置

食育を充実するため、給食の栄養・衛生管理をする栄養教諭を、早急に全道の小・中学校すべてに配置するべき。

観光教育の充実

観光教育は間口が広く、学んだことを応用できる範囲も広い。北海道のリーディング産業である観光を振興する上で観光教育を充実し、小・中学校の段階から将来の北海道観光を担う人材を育てるべき。

道の考え

実験校において英語や国際理解に関する科目を増やしている。外国語学科は全国的に減っているため、新設は難しい。「国際バカロレア」の導入を含め、国や他県の動きを見ながら検討する。

4月現在、栄養教諭・栄養職員は定数に対し89%配置している。未配置市町村に対し、さらに指導・助言するほか、国に定数改善を求める。

観光教育は重要なテーマ。今年度中に修学旅行や遠隔地で宿泊体験を通してふるさとのよさを気付かせ体験活動をプログラム化し、各学校で活用を促す。英語でふるさとを発信する力を養う「北海道イングリッシュキャンプ」なども推進する。



観光の振興

JR北海道の信頼回復

JR北海道の一連のトラブルは北海道のJRの「安心・安全」イメージを大きく損ねた。北海道観光にとってイメージダウンは極めて大きい。貨物列車の不確実性は農産物や鮮魚など物流にも大きな影響が懸念される。道はJR北海道に対し、確固たる対策を講じるよう、積極的にものを申していくべき。（知事の直接考えを聞きたい旨、委員長に依頼した）

札幌国際短編映画祭の支援

今年で8回目を迎えた札幌国際短編映画祭は94の国と地域から3746本の応募があり、今や日本を代表する映画祭に成長した。海外に向け、道民の映画祭として認知度アップを積極的に支援し、北海道の観光振興に利用して欲しい。

道の考え

JR北海道に対し、安全体制の再構築に全力を挙げるように求める。本道観光、本

道経済への影響額をただちに把握することは難しいが、運休に関わる路線の沿線市町村、団体、さらに主要観光地をも対象に影響を調べ、影響を最小限に抑えるために必要な対応を検討する。

札幌国際短編映画祭については主催者の札幌市や実行委員会の意向を踏まえながら、海外でのPR活動など支援に努める。



国道・道道の整備

工期短縮に全力を

一般国道岩内共和道路の整備が進み、今年度から国道276号と併用が始まる。道道泊・共和線の整備事業も認定されたが、完成まで10年。地元町村にとって避難道路の整備は長年の悲願であり、避難せざるを得ない事象はいつ起こるか分からないので、工期短縮に全力で取り組んで欲しい。

併せて、国道276号の維持・管理は地域の産業振興、避難道路として重要。国と連携して全力を挙げていただきたい。

道の考え

道道泊・共和線の整備は、地域住民の避難経路として整備が急務。一日も早い完成に向け、全力で取り組む。

国道276号線は引き続き国に管理されるところを考えているが、国から協議の申し入れがあれば、地元町村の意向も踏まえ、適切に対応する。



サービス産業の振興

具体的策と予算・目標を

本道におけるサービス産業は、生産額、総従業者数とも全産業の7割を占め、全国平均(5割)を大きく上回る。その振興・発展は経済、雇用両面から重要課題。分野は極めて多岐に亘り、幅広いが、北海道のサービス産業として重点的に育てるターゲットを絞り、しっかりした予算と目標値を持ち、毎年検証しながら実行するべきである。

道の考え

毎年、サービス産業振興方針推進プランをまとめている。国の交付金事業が固まる7月時点の事業を含めるため、年度半ばの9月となっているが、幅広く把握しつつ、

できるだけ早めたい。

「北海道サービス産業振興方針」で「サービス産業の基盤強化」「全道各地域における新たなサービスの創出」「産業の競争力やサービス産業の新たな展開につながるIT産業の振興」を3本柱にしている。

課題は労働生産性とIT産業の売上高アップ。国は健康長寿に関連する産業振興や小規模企業の振興策見直しを始めている。国の動向を見据え、今後の振興策を検討し、持続的発展に取り組む。



日本海における海獣対策

沿岸漁業を守るために

日本海でトドによる漁業被害が増えている。水産資源が希薄になっている日本海沿岸の漁業を守るため、あらゆる手立てを尽くし、全力で取り組んでいただきたい。

道の考え

被害防止対策は緊急の課題。本庁に対策本部を設け、市町村や漁業協同組合と連絡会議を設置し、



効率的な集中駆除や漁業者ハンターを育成することに力を入れている。

平成24年度の被害額は全道で16億円余。うち日本海沿岸が13億円と、8割を占める。24年度は北海道、青森で249頭駆除した。うち利尻・礼文海域と石狩湾周辺に集中し73頭を駆除。冬期間の海上作業に慣れた漁業者を中心にハンターの育成に力を入れ、29年度までに7年間で62人を新たに育成する。

今後、国に対し、これまで以上に対策強化を要請し、駆除枠の拡大や漁業被害に対する補償制度の創設を強く働きかけていく。





8月 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会で質問。民放テレビのニュースで紹介されました



活動報告



7月 「TPPから北海道を守り抜く総決起大会」に参加



10月 倶知安町で北海道原子力防災訓練を視察



朝、出勤途中の皆様にご報告を続けています



11月6日、北区・サンプラザで道政報告会「むかい昭彦と語る明日の北海道」を開催



7月 旭川市にある「地方独立行政法人道立総合研究機構・北方建築総合研究所」へ

「10月15日から、北欧における“原発のゴミ”使用済み核燃料の処理について視察してきました。その内容を、11月6日、サンプラザで開催した道政報告会でご報告し、併せてブログでもご紹介しています」（向井昭彦）



エッセイ

2013. 10. 05

むかい昭彦の思うこと⑧

浮かれること無く、謙虚に...

十時過ぎには議会に出勤。
昨日でようやく第三回定例会も終了しました。
昨日の本会議自体は四十五分ほどなのですが、午前中には道庁に出かけて予算特別委員会でお世話になった各部にご挨拶回りをしました。これは誰もがやることでは無いのですが、一期生としてお世話になった各局・各課の担当者に改めてお礼に行くことは大事な事だと思っています。
答弁を考えるのに徹夜になることも有る道庁職員。
今回はさすがにそんな状況では有りませんが、いつも質問ではご苦勞を頂いています。
今回少しトラブルがあって、ある部ともめましたが、言うべき時はしっかり言う。
しかし、普段は謙虚に！
「先生」と呼ばれて浮かれること無く、頑張ります。

